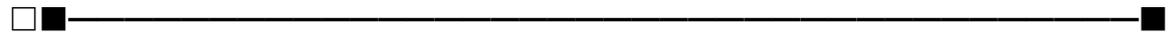




多言語メルマガ かがしま南の風便り(vol.164)



[○最新情報○](#)

出水ツルの越冬地がラムサール条約湿地に登録されました(11月18日)

[○国際交流員のコラム○](#)

どうぞよろしくお願いいたします!

鹿児島県国際交流員 ウォン・イミン(シンガポール出身)

[○かごしまの国際交流 A-Z○](#)

鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター活動レポート

[○観光かごしま旬の情報○](#)

志布志イルミネーション 2021(鹿児島県観光サイト「かごしまの旅」より)

[○編集後記&【募集】鹿児島に関する話題○](#)

○最新情報○

●出水ツルの越冬地がラムサール条約湿地に登録されました(11月18日)●

国際的に重要な湿地を保全するラムサール条約に、出水市の干拓地一帯が「出水ツルの越冬地」として登録されました。例年1万羽を超えるツルが飛来する国内最大の渡来地で、環境保全や生態系の維持に努めることが国際的に義務付けられることとなります。

登録区域は出水平野の計478ヘクタールで、世界各国で進んだ開発の影響で越冬地が減る中、住民らが60年間保護活動を担い、絶滅が危惧されるナベツルやマナツルがシベリアから飛来する国際的に貴重な湿地帯となっています。

県内の登録湿地は、蘭牟田池(薩摩川内市)と永田浜(屋久島町)に続き、3ヶ所目となりました。

(出水市ホームページより)



○国際交流員のコラム○

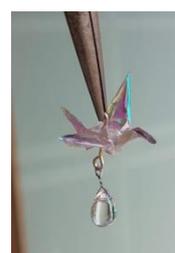
●どうぞよろしくお願いいたします！●

鹿児島県国際交流員 ウォン・イミン（シンガポール出身）

初めまして、シンガポール出身のウォン・イミンと申します。10月から鹿児島県庁で国際交流員として勤めています。コロナパンデミック中に来たのは予想外だったのですが、みなさんのおかげで無事に着くことができました。

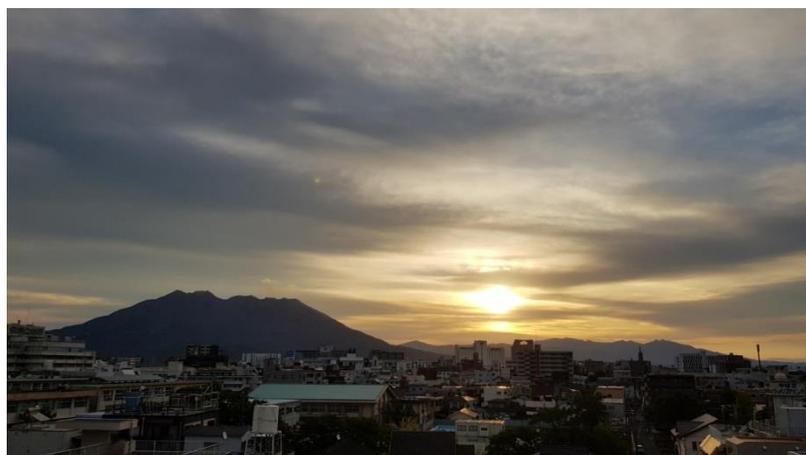
私はシンガポール国立大学を卒業して、専門は心理学でした。日本語は大学の中から勉強を始め、JETプログラム（The Japan Exchange and Teaching Programme）の国際交流員についても大学で初めて知りました。そのあとは日系企業で働いてましたが、プログラムに申し込みたいと思いました。昔から日本で仕事をしたり、日本の文化との交流が経験したかったので、いいチャンスだと思い去年、参加しました。合格したのはすごく嬉しかったのですが、その時新型コロナウイルスが広がったため日本に来るのは2021年に延長されました。しかし、これは運命だと信じていました。なぜかという、もし予定通り去年日本に来ましたら、おそらく美しい鹿児島ではなくて、他のところに配属する可能性が高かったからです。

私の趣味は写真撮影と手芸です。鹿児島の豊かな文化と素敵な自然風景を撮ったり、伝統工芸も体験したいです。



手芸の例

シンガポールの都市生活しか経験してこなかった私にとって、鹿児島の自然は本当に素晴らしいと思っています。毎朝お茶をゆっくり飲んで桜島と日の出を同時に楽しみながら、鹿児島に来れたことに感謝の気持ちしか持っていません。



桜島と日の出

鹿児島に着いてからのこの三週間は忙しかったですが、みなさんの親切で優しい気持ちを感じられて本当に感謝しています。内向的な自分の日本語にあまり自信を持ってない私には、自分の殻から抜け出すことは大変なことですが、みなさんのおかげで楽しみながら頑張っています。

やっと今大体落ち着きましたので、次は鹿児島での体験を楽しみにしています。まずジブリ映画『もののけ姫』の舞台と言われている屋久島からです。数年前その映画を見たときからずっと行きたい場所なので、今度行くチャンスがあるのですごくわくわくしています。この続きはお楽しみに！

この旅はこれからですね。新人としてまだ分からないことばかりですが、親切なみなさんに感謝の気持ちを持って頑張りたいと思います。これからもどうぞよろしく願いいたします！



県庁の近くと日の入り

〇かごしまの国際交流 A-Z〇

●鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター活動レポート●

鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター（通称：カピックセンター）は、鹿児島県の国際交流、国際協力の拠点として平成6年に設立され、今年で28年目を迎えました。これまで述べ29万人を超える利用者があり127カ国の外国人研修員を受け入れてきました。平成18年より指定管理者（鹿児島国際交流促進センター）が管理運営を行っています。

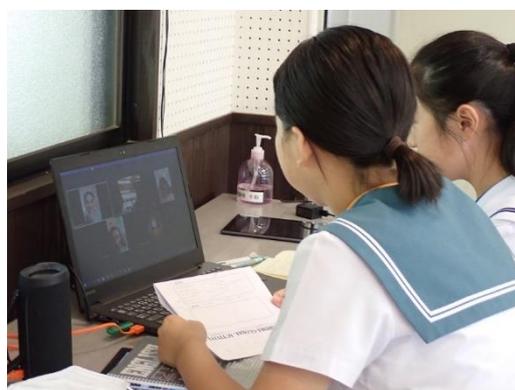
美しい自然に恵まれた大隅湖畔に立地しており快適な宿泊施設を備えた研修センターです。

現在コロナ禍の中で海外から研修生が来日できず、カピックセンターのイベントも縮小・中止の状況が続いておりますが、オンラインを駆使しつつコンテンツの充実化を図っております。今回はカピックセンターが今年度重点的に取り組んでいる各種事業についてご紹介します。

①オンライン国際交流事業



7/14 鹿屋女子高校アクティブイングリッシュ



7/28 Kirishima Global Activity

カピックセンターでは昨年度から鹿屋女子高校で出前授業を行っていますが、今年度もタイのプリンスロイヤル校とオンライン交流を実施しました。また今年度はカピックセンターにて霧島市教育委員会主催の Kirishima Global Acitivity の一部を受け入れ、参加者の霧島市の中学生とロシア・タイ・アゼルバイジャンの学生とオンライン交流を実施しました。

コロナ禍の中では直接、研修員と県民の皆様と交流するのが非常に難しくなっていますが、オンライン交流であれば時間を合わせることと双方のネット環境さえ整っていればお金もかからず手軽に国際交流を行うことが可能です。

②SDGs プログラム事業



6/22 志布志中学校出前講座



10/19 原田小学校社会科見学

カピックセンターでは県内の学校に対して様々な国際理解プログラムを提供していますが、最近ではSDGsを加味したプログラム・出前講座を希望する学校が多くなり、SDGsプログラムの充実化を推進しているところです。既存の国際理解プログラムにSDGsのエッセンスを取り入れたもの、SDGs単独でのプログラムなど様々なSDGs関連のプログラムを構築しています。

③英語イベント事業



4/25 第1回チャレンジングリッシュ



7/11 第2回チャレンジングリッシュ

2020年度より小学校3年生から外国語活動が必修となり、英語学習の重要性がますます高まっています。このような流れの中でカピックセンターでは大隅地域在住のALTの先生方と共に、小学生を対象とした英語のイベントを行っています。小学校の早い段階から楽しく英語を使うこと、外国人の先生と楽しく触れ合うことで豊かな国際感覚を持った人財の育成に貢献できると考えています。

★最後に★

カピックセンターは以上のような事業を今年度重点的に取り組んでおります。外国人の方と国際交流をしたい方、SDGsに興味のある方、英語を楽しく勉強したい方などはぜひカピックセンターにご連絡ください。カピックセンターはこれからも引き続き鹿児島県の国際化に貢献すべく鋭意取り組んで参ります。

鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター(カピックセンター)

【住所】 鹿屋市上高隈町 3811-1

【メールアドレス】 info@kaptic.jp

【ホームページ】 <http://kaptic.jp/>

【電話番号】 0994-45-3288

【FAX番号】 0994-45-3258

▽先日、いちき串木野市でグランピング体験してまいりました。グランピングとは、グラマラスとキャンピングを掛け合わせた造語。テントの中に入るとホテルと変わらないアメニティで、併設されているスペースではBBQを楽しむこともできます。夜中にかけてあいにくの雨でしたが、テントに落ちる雨の音にも何となく癒され、手軽に「非日常」を味わうことができました^^



「かごしま南の風便り掲示板」では、次の鹿児島に関する話題を募集・掲載いたします！

☆鹿児島フォトギャラリー

鹿児島らしさを感じる写真や海外で見つけた鹿児島の写真を募集いたします。写真の簡単な説明を添えてお送りください（例：克灰袋の山）。

☆鹿児島暮らしの知恵

鹿児島の生活に関する情報をご共有ください（例：つけあげのおいしい食べ方、火山灰の対処法）。

その他，読者の皆様に発信したい情報もお待ちしております。

▲▽▲▽ 記事提供・お問い合わせ先 ▲▽▲▽

日本国 鹿児島県 観光・文化スポーツ部 国際交流課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10-1

電話番号:+81-99-286-2306

FAX 番号:+81-99-286-5522

↓電子メールアドレス

英 語：cir1@pref.kagoshima.lg.jp

韓国語：cir3@pref.kagoshima.lg.jp

日本語：minami@pref.kagoshima.lg.jp

本記事の著作権は鹿児島県に属します。無断での再配信，転載及び掲示板等への掲載は禁止します。